

岳岱自然観察教育林巡視

◎10月10日(金曜日)天気(晴)

昨年8月の豪雨災害から通行止めとなっていた県道西目屋二ツ井線(以下県道)が10月10日9時に開通しました。また、黒石林道も県道と同時期に復旧し、岳岱自然観察教育林(以下岳岱)までアクセスが可能となりました。このため、今年初めて岳岱を訪れるお客さんへ、ガイドリーフレットの配布等を行いました。

県道が開通したことにより青森県西目屋村、景勝地として知られる釣瓶落峠へのアクセスが可能となりました。また、岳岱、田苗代湿原、藤里駒ヶ岳登山口(以下登山口)へのアクセス道となっている黒石林道は、岳岱へのアクセスは可能となりましたが、岳岱から先は引き続き通行止めとなっているため、田苗代湿原、登山口へのアクセスはできません。(徒歩なら可能)

県道開通日当日は、県道のゲート前に9時の開通に合わせ20数台の車が並び、開通時間を今か今かと待っていました。

岳岱へ着くと、駐車スペースはみるみるうちに埋まっていき、一年ぶりに観光バスでのツアー客や、個人の観光客を迎え久々の賑わいを見せました。

岳岱では、センター職員が訪れたお客さんにガイドリーフレットの配布を行い、岳岱の見所の説明やクマ等の注意喚起を行いました。

岳岱内はまだ黄葉のシーズンには早かったのですが、訪れた人たちは晴れ渡る秋空のもと、きらきらと輝く木漏れ日を浴び、「おいしい空気」を味わいながらブナ林の散策を楽しんでいました。

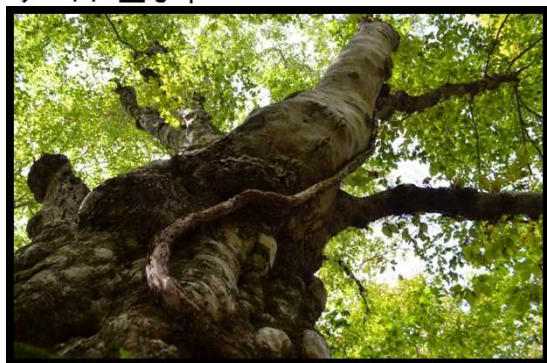
白神山地周辺地域の山は色づき始めており、これからモミジの紅葉やブナの黄葉の見頃を迎えます。訪れる方は、クマ対策や防寒対策をきちんとして、安全で快適な散策や、登山を楽しんで下さい。



ゲートに並ぶ車



ガイドリーフレットを配布しました。



ブナの巨木



ツアーで訪れたお客さん、賑わいがよみがえりました。



岳岱に設置したセンサーカメラで撮影されたツキノワグマ。一帯はツキノワグマの生息域ですので、訪れる際はクマ鈴の携帯などの対策を忘れずをお願いします。



色づいた釣瓶落峠（午後からは逆光となるため、写真撮影は午前中がおすすめです。）